

何があってもおそれず、ひたむきにまっすぐ進む（努力する）こと

一往直前

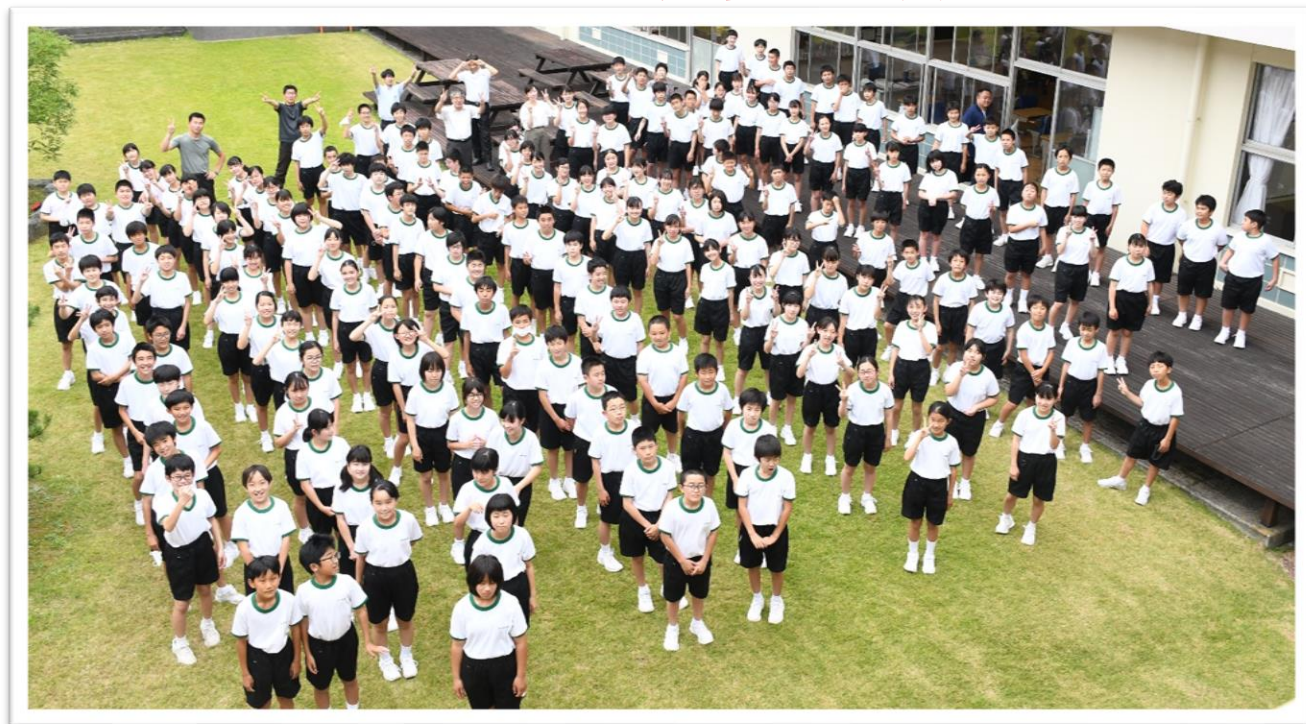
令和2年6月12日(金)

豊田中学校 第1学年

学年通信 第9号

文責 渥美 直和

1年生学年全体の写真



放課後の職員室で、「梅雨に入る前に学年全体で写真を撮りたいなあ」という担任のつぶやきがあり、急遽、先週の水曜日（6月3日）に中庭で全体写真を撮りました。残念ながら、お休みの子もいて全員は揃っていませんが、160人近い生徒が一堂に集まるとなかなか壮観です。もちろん、三密に気を付けて、写真と撮る瞬間まではマスクをしてもらっていますが、どこに自分が写っているかを探すのもまた楽しみです。学年全体写真撮影の後は、各クラスでも集合写真を撮っていました。それぞれのクラスの個性が出ていて面白いなあと思います。次の写真のどれが何組なのか分かりますか？



生活のヒント

1学年の重点目標の中に、「“凡事徹底”—あいさつ」を掲げました。この凡事徹底という言葉は、イエローハットの創業者である鍵山秀三郎さんが提唱したと言われています。鍵山さんの『困ったことばかりでも、何かひとつはよいことがある。』（PHP 出版）にも3つの基本的な考え方として、<① 普通の人が見過ごしそうな、小さな平凡なことを一つひとつ拾いあげて大切に育てる><② だれもができることを、だれもがやれないくらい徹底して続ける><③ だれにでもできる簡単なことで、人に差をつける>と載っています。

誰にでもできる簡単なことをバカにする人は多いです。学校生活や将来には、「もっと大きなことをやることこそ大事なのだ」と勘違いしているからでしょう。でも、簡単なことをおろそかにしている人は、大きなことができるはずがありません。掃除に限らず、簡単だけど、基本的で大事なことは多いです。凡事徹底にも通じる「しつけの三原則」（森信三氏）も知っていますか？<① 朝のあいさつをする子に（それには、先ず親が先にすること）><② 「ハイ」とはっきり返事のできる子に（それには、母親が夫に呼ばれたら「ハイ」と返事をする）><③ 席を立ったら必ず椅子を入れる（はき物を脱いだらそろえる子に。あと始末をきちんとする子に。）>どれもできれば理想的ですが、まずは1年生の皆さんには、あいさつを本当の意味できちんとできるようにしていきたいなと思っています。「単純なことを周囲が感動するくらい実践する」誰もができることを、誰もがやれないくらい徹底して続けていきましょう。

～ 単純だからといって、簡単にできるとは限りません。むしろ単純だからこそ、簡単にできないことのほうが多くあります。たとえば掃除。この掃除くらい、単純なことはありません。単純なだけに、ほとんどの人が自分で掃除をせずに、「簡単だ」と決めつけています。ところが、その単純な掃除を、周囲の人が感動するくらい実践している人はそんなにいないはず。掃除をしない人は、たぶん「掃除なんかいつでもできる」と、高をくくっているのではないのでしょうか。

いまでできない人が、後でできるはずがありません。自分でいくら「できる」と思っている、やらなければ「できない」のと同じ。

掃除だけではありません。日常の、挨拶だってそうです。

人間関係において、挨拶の重要性はだれもが知っています。ところが、まともな挨拶ができていない人を、そんなに見かけたことがありません。たしかに、掃除にしても挨拶にしても単純。しかし、この単純なことを「簡単ではない」と受け止めるようにならなければ、人生はいつまでも変わりません。～



連絡事項



• 水泳授業は、今年度はなし となりました

新型コロナウイルス感染防止のため、また、ながふじ学府一体校工事による他校でのプール学習ということもあり、今年度の水泳授業はなしと決定しました。ただ、来年度以降は保健体育科での水泳学習は実施予定ですので、1年生の皆さんは水着の準備をお願いします。例年通り、学校でも水着の販売を斡旋いたしますので、必要であれば購入をお願いします。

• 梅雨に入りました

6月10日（水）に静岡県西部地方も梅雨入りをしました。実は、学校では梅雨の時期に交通事故が多発します。本校の学区内には磐田原台地から学校に向かって坂を下ってくる自転車通の生徒がおりますが、雨で道路が滑りやすくなっており、大変危険な状況です。昨年も滑ってけがをした生徒、自転車を破損した生徒がおります。特に注意して登下校してください。徒歩通の生徒も、傘をさしていることで、道を広がりやすくなる危険があります。いずれにしろ、特にこの時期登下校には十分注意をして交通事故ゼロで過ごしたいですね。

